

広島大学と連携！

新しいものづくり教育を考える研修講座を実施します！

教員が、新しいものづくりの方法として注目されている3DCADと3Dプリンタについて学び、授業での活用方法を考えます。

研修を通じて、「見える化」から「触れる化」へともものづくり教育を推し進めていきます。

1 講座名

ものづくり教育「3DCAD・3Dプリンタを活用した立体物の表示・表現の工夫」講座
(広島大学連携)

2 日時

7月1日(月)・2日(火) 9:30~16:30

3 場所

広島大学 (東広島市鏡山一丁目1-1)

4 講師

広島大学大学院 教育学研究科 教授 ながまつ長松 まさやす正康
広島大学大学院 教育学研究科 准教授 かわだ川田 かずお和男

5 受講者

広島県内の中学校技術・家庭科(技術分野)及び高等学校工業科の担当教員 計12名

7月1日(月)

9:30~9:40 オリエンテーション
9:40~10:40 ものづくり教育の現状と課題
10:50~12:00 3DCAD, 3Dプリンタの概要
13:00~16:15 基本的な教材の設計・製作
16:15~16:30 研修のまとめ、振り返り

7月2日(火)

9:30~9:40 オリエンテーション
9:40~12:00 授業等で活用する教材の設計・製作
13:00~15:20 授業等で活用する教材の設計・製作
15:30~16:15 新しいものづくりを取り入れた授業づくりのポイント
16:15~16:30 研修のまとめ、振り返り



学びをつなぐ できるにつなぐ
Innovation from Hiroshima
広島県立教育センター

県立教育センター
マスコットキャラクター
『ラーン』